

平成28年12月5日

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会 御中

公益財団法人南相馬市文化振興事業団
理事長 桜井 勝 延



『響きの泉シリーズ Vol.15 館野泉 80歳記念コンサート
80歳、最初の挑戦～4つのピアノ協奏曲』事業実施報告

実施日時：平成28年10月30日（日） 16：00開場／16：30開演

開 場：南相馬市民文化会館 大ホール

出 演：館野泉（ピアノ）
高関健（指揮）
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団（管弦楽）

プログラム：ピアノ協奏曲第3番「西風に寄せて～左手のために」／池辺晋一郎
管弦楽付きピアノ音楽 作品29（左手のためのピアノ協奏曲）／ヒンデミット
オーケストラと左手のためのファンタスティック・ダンス／シュタール
左手のためのピアノ協奏曲／ラヴェル

来 場 者：265名

目 的： 東日本大震災に伴う原子力発電所の事故後、南相馬市民はその多くが避難生活を余儀なくされこの街に残った住民はわずかでした。そのような当市を当会館の館長館野自身が気にかけており、何度もこの街に足を運び市民との交流の場や、当会館あるいは市内の小中学校での演奏会を実施する機会を作り、人々の心の復興に尽力してきました。

そこで今回は、本物のクラシック音楽を届け贅沢なひと時を過ごすことにより、震災から5年が経過した今でもなお以前とは異なる生活を強いられ傷ついた市民の心を少しでも癒せるよう、また未来への活力の助けとなるよう、館長館野泉の演奏会をフルオーケストラと共に地域住民へ届けたいと考えています。

当日の様子： コンサートには、かねてより館長のファンという方が多く来場されました。中には、震災以前に行った小学校でのアウトリーチで、初めて館長の演奏を聴きそれ以来すっかりファンになったという元教員の方が、当時小学生だった息子さんと一緒に来場し、子どもが成長した時間と震災後の時間の経過とを重ねていました。

また、今回の演奏会は80歳での演奏となりましたが、来場者からは「その年齢や左手のみの演奏という事実を感じさせない迫力のある演奏に、とても感動した」という感想や「80歳になってもなお挑戦し続ける館長の姿に、この地域の復興を諦めない気持ちを再認識することが出来た」という感想が多く寄せられました。

経費報告：出演者一行80名、指揮者およびソリストの交通費

上野－仙台（往復新幹線／普通指定席）	@22,800円×80名＝	1,824,000円
仙台－南相馬（往復バス）	@ 2,000円×80名＝	160,000円
仙台－南相馬（タクシー）		22,440円
運搬費（4tトラック）		194,400円
合計		2,200,840円
		（うち支援申請額 300,000円）

推薦者：(株)ジャパン・アーツ





以上